



Open SDV API APIコンセプト 補足資料

バージョン : 202609β
発行日 : 2026年10月9日

Open SDV Initiative

ドキュメントの位置付け

ドキュメントの目的

- ▶ この資料は、Open SDV API仕様書の第1章～第3章で説明/規定されているAPIのコンセプトに関して、前のバージョンとの違いについてまとめたものである

変更履歴

バージョン	発行日	備考
202503α	2025年3月31日	初版
202509α	2025年9月30日	
202603α	2026年4月6日	
202609β	2026年10月9日	

バージョン 202603αとの主な違い

- ▶ Open SDV API仕様書の第1章～第3章のバージョン 202603α からの主な変更箇所は以下の通り

全般

- ▶ 「危険」と「リスク」の意味を明確化して使い分け
- ▶ アプリケーションのリスク制御情報を含むファイルを、アプリケーションのマニフェストと呼ぶことに変更
- ▶ 表現・文言のブラッシュアップ，誤記の修正

オープンSDVとOpen SDV Initiativeの取り組み(1.1節)

- ▶ ビークルAPIの標準化動向のアップデート
- ▶ Open SDV Initiativeの活動状況のアップデート
- ▶ Open SDV API仕様の策定状況のアップデート

ビークルAPIに対する要件(1.2.3節)

- ▶ 要件(2)を「OEMによる車両の差別化を阻害しないこと」に変更
- ▶ 要件(3)の説明で、OEMやその委託先が開発するアプリケーションも同じAPIの使用を想定していることを記述

要件を満たすためのアプローチ(1.2.4節)

- ▶ アプローチ(2)の説明をブラッシュアップ
- ▶ 前バージョンのアプローチ(3)～(5)をアプローチ(3)に集約し、3つのアプローチを(a)～(c)の3つの理由として整理

用語の定義(2.1.1節)

- ▶ 「状態とイベント」の項を削除
 - ▶ イベントの定義は、2.3.8節にある

車両構成の階層構造(2.2.2節)

- ▶ 第2レベルのノードに, ADADAS, Energy, Navigationを追加

イベント(2.3.8節)

- ▶ 最新のイベントのみをイベントキューに保持する最新値イベントの概念を追加

リスク制御機能(2.5.2節)

- ▶ 記述を厳密化
- ▶ リスク制御で制御が中止されたことを, イベントで伝える仕様を追加
- ▶ 使用できる操作優先度をチェックする機能を, リスク制御機能から分離

共通データ型(3.1節)

- ▶ タイムスタンプのデータ型を, ミリ秒単位の相対時刻から, ナノ秒単位の絶対時刻に変更

共通のイベント(3.3節)

- ▶ 節のタイトルを「すべてのオブジェクトが持つイベント」から「共通のイベント」に変更
- ▶ リスク制御機能により操作が中止された時に発生するイベントに関する規定を追加
- ▶ オブジェクトの状態を, 状態の変化時または定期的に伝えるイベントに関する規定を追加

MovableObject(3.5節)

- ▶ リスク制御機能による操作の中止を示すイベントに関する振る舞いを追記
- ▶ startMoveの使用方法に, リスク制御機能による操作の中止を示すイベントを受けた時の処理を追加